

平成27年度「高校生等防災教育基礎講座」実施状況

1. 実施概要

平成27年度は、県立高等学校7校、私立高等学校1校及び特別支援学校1校の計9校で実施しました。

内容は、防災に関する講演（講師派遣）を基本とし、加えて模擬体験を実施しました。

【実施校】

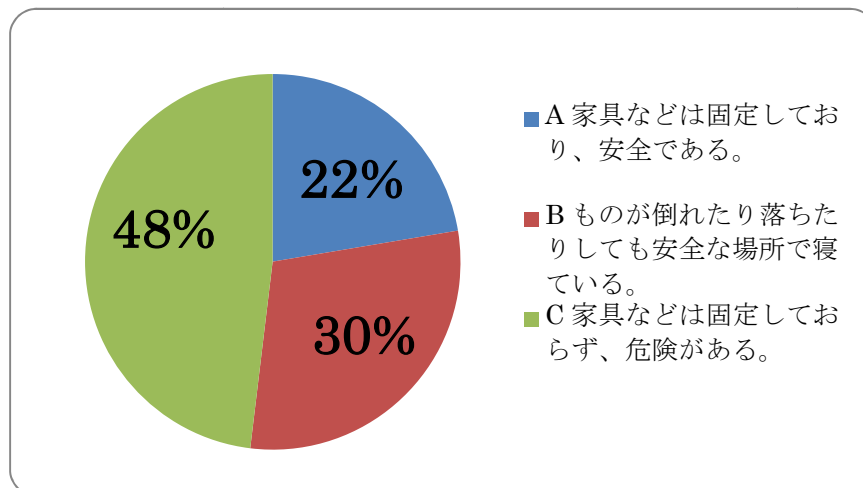
| No. | 実施日時 | 実施校・参加者 | 演 題・講 師 |
|-----|--------------------------|--|--|
| 1 | 9月29日(火) 10:40～12:10 | 県立生浜高等学校 451名（全校生徒） | 「都心部で発生する地震災害の特徴とその対策 －高校生ができる防災への取組・心得－」 公益財団法人市民防災研究所 特別研究員 細川顕司 氏 |
| 2 | 12月17日(木) 9:00～10:00 | 県立船橋古和釜高等学校 630名（全校生徒・職員） | 「高校生ができる防災への取組・心得」 公益財団法人市民防災研究所 特別研究員 細川顕司 氏 |
| 3 | 9月3日(木) 13:30～15:00 | 県立市川工業高校 730名（全校生徒） | 「早めの避難に勝る防災なし ～東日本大震災体験談」 いいおか津波語り継ぐ会 会長 仲條富夫 氏 ※起震車を実施 |
| 4 | 7月16日(木) 9:00～10:00 | 県立成田西陵高等学校 544名（全校生徒） | 「被災地での経験と防災・減災に向けた取り組み ～高校生ができる防災への取り組み・心得～」 東京災害ボランティアネットワーク 事務局長 福田信章 氏 |
| 5 | 10月22日(木) 13:40～14:25 | 千葉県立小見川高等学校 162名（1学年） | 「早めの避難に勝る防災なし ～東日本大震災体験談」 いいおか津波語り継ぐ会 会長 仲條富夫 氏 |
| 6 | 2月26日(金) 9:00～11:30 | 県立銚子高等学校 360名（1, 2学年） | 「東日本大震災の体験から－そして今」 宮城県七ヶ浜町社会福祉協議会 引地淑子 氏 |
| 7 | 11月26日(木) 14:00～15:30 | 県立君津青葉高等学校 400名（全校生徒・地域 住民） | 「東日本大震災の体験から－そして今」 宮城県七ヶ浜町社会福祉協議会 引地淑子 氏 |
| 8 | 9月2日(水) 13:30～14:30 | 東海大学附属望洋高等 学校 1010名（全校生徒） | 「被災地での経験と防災・減災に向けた取り組み ～高校生ができる防災への取り組み・心得～」 東京災害ボランティアネットワーク 事務局長 福田信章 氏 |
| 9 | 11月24日(火) 10:00～11:30 | 県立八日市場特別支援 学校 130名（高等部生徒、地 域住民） | 「高校生にできる防災の取り組み －災害時の役割を考える－」 地震防災アドバイザー 川端信正 氏 |



2. アンケート結果

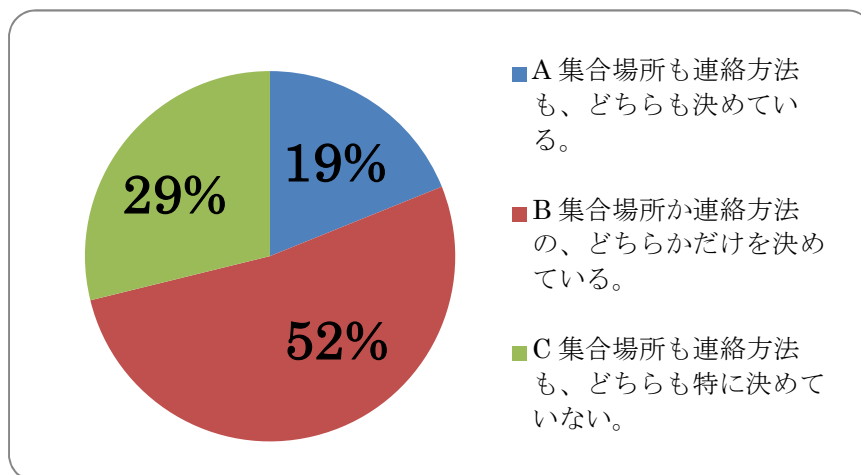
「高校生等防災教育基礎講座」の参加者に対して、日常からの防災対策及び東日本大震災後の災害に対する意識を問うアンケートを実施しました（特別支援学校を除く）。

(1) あなたの家庭では、寝ているときに地震が起こった場合、体の上にもものが倒れてきたり落ちてきたりする危険はありますか？



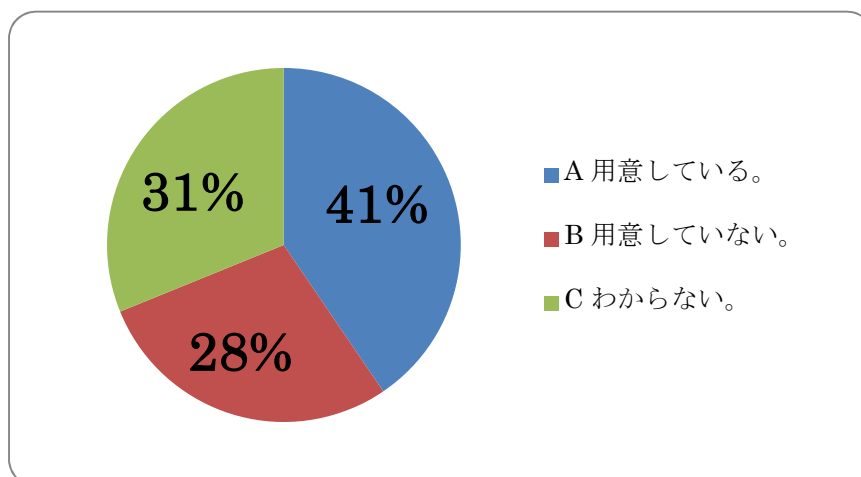
(2) 東日本大震災の起きた当日は、各交通機関が止まり、遠くから通学している人は帰宅が困難になりました。また、電話も通話が集中し、つながらなくなりました。

家族と離れている時に災害が起きた場合、集合場所や連絡方法を決めていますか？

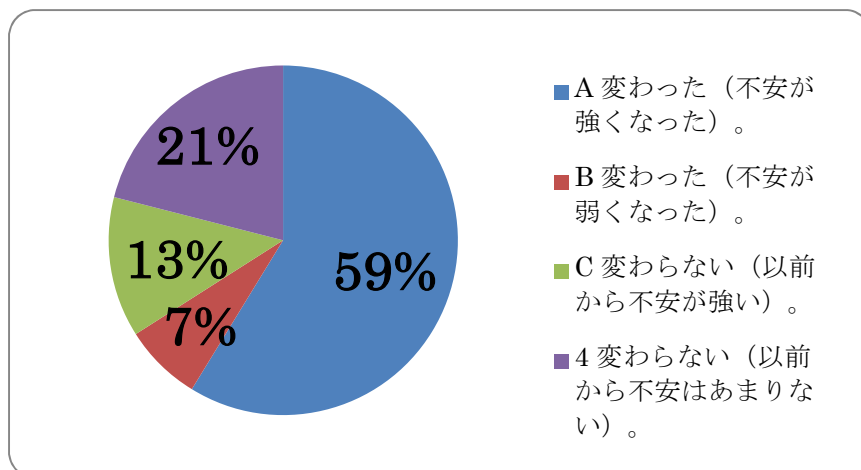


(3) 東日本大震災のように、大災害時にあなたの家庭が被災すると同様に、自治体なども被災し、すぐには公的機関からの救援が望めない場合があります。

あなたの家庭では、災害に備えて水や食料などの非常品を用意していますか？



(4) あなたは、東日本大震災が起きる前・後をくらべ、大地震や風水害に対する気持ちに変化がありましたか。



(5) 本日の講座についての感想や、東日本大震災後にあなたが感じたことを書いてください (主な回答)。

- ・ 高校生でも対策や防災などできることがあるので、今後それらを意識して生活するとともに、いざという時のために備えておく。
- ・ 親、友人、兄弟は普通にまわりにいるものだと思っていたが、まわりにいることは特別で幸せなことであると思った。
- ・ 集合場所や連絡方法を全く決めていないので、改めて家族と話し合った方がいいと思った。
- ・ ペットの扱いについて考えさせられた。
- ・ 自分は阪神大震災と東日本大震災の両方を経験している。消防士を目指しているが、今の時点でも自分にできることは沢山あると再認識することができた。
- ・ 海に近い地域の人々は津波に気をつけないといけないことがわかりました。私が住んでいる所は液状化に気をつけなければいけないので、普段から家族と話し合っ、おちついて行動したいです。
- ・ 東日本大震災前は、まさか自分に影響する範囲で災害が起こると思っていなかったのですが、震災の後、決して他人事ではないと考えられるようになりました。改めて思い出す1日となりました。
- ・ 私の家も瓦がすべて落ちてしまい、大変でした。しかも父と母がいなくて姉と2人で不安だったとき、隣の人が食べ物と飲み物をくれました。大変な時こそみんなで助け合うことの大切さを感じました。
- ・ まだまだ、地域と学校が連携していくことが重要であり、次の災害に向けて考えていくべきところはたくさんあると思った。
- ・ 5年たった今でも仮設住宅で暮らしていることを知り、びっくりしました。
- ・ 将来、一人暮らしをするときに、考えることがたくさんあることを確認しました。